

交通まちづくり研究室

1. はじめに

交通まちづくり研究室は、交通に軸足を置いてまちづくりの目標を達成するための諸々の施策や取り組み（交通まちづくり）、それにかかわる手法や技術について調査・研究に取り組んでいます。その対象領域は、広域からコミュニティまでの各レベルを対象としたテーマ、それらに関連する国内外の調査・研究まで幅広く取り扱っています。今後も時代が要請するテーマを的確にとらえて交通まちづくりを支援する調査・研究を進めていきたいと考えています。

2. 主な研究活動

(1) 受託業務

国や地方の行政機関や民間企業から調査研究業務を受託して活動しています。主な委託先は次の通りです。

・ 国関係

国土交通省（都市・地域整備局、道路局、北海道開発局、九州地方整備局、国土技術政策総合研究所）、内閣府沖縄総合事務局

・ 地方自治体

神奈川県、静岡県、浜松市

・ 高速道路関係

首都高速道路株式会社、名古屋高速道路公社

・ 民間企業

三菱地所株式会社、大丸有駐車協議会

(2) 学会活動・外部委員会等

土木学会、都市計画学会、交通工学研究会、日本モビリティ・マネジメント会議、日本社会科教育学会の研究発表会や各種行事に参加しています。

また、交通まちづくり研究小委員会（土木学会）、教育企画・人材育成委員会土木と学校教育会議検討小委員会（土木学会）等に委員として参画しています。

(3) 自主研究活動

受託業務のほかに、自主研究活動を行っています。これまで次のような自主研究を実施してきました。

- ・ 郊外生活に提供されるべきモビリティと公共交通の役割に関する調査研究
- ・ 交通データの汎用的活用を支援するデータ提供業務の検討
- ・ 動的シミュレーションと静的配分の組み合わせに関する研究

また、現在研究中のテーマは次の通りです。

- ・ 学校教育におけるモビリティ・マネジメントの実施に関する研究
- ・ 渋滞現象を考慮した準動的交通量配分モデルの検討
- ・ サイレント層の意識・位置づけを明確にする交通調査手法及び計画プロセスに関する研究（科研費：研究代表者 埼玉大学大学院教授 久保田尚）

3. 主な研究テーマ

(1) 交通まちづくりのための国と地方の交通政策のあり方の研究

交通まちづくりを進めるため、国と地方自治体はどのような交通政策を実施すべきかについて調査研究を行っています。

- ・ 目指す目標に対応した交通政策～ハード整備、ソフト施策、土地利用施策と交通施策の連携、モビリティ・マネジメント（居住地 MM、事業所 MM、学校教育 MM）、新技術、環境制約下、健康と交通まちづくり…
- ・ 交通まちづくりを推進するための法制度～都市交通戦略をめぐる仕組み
- ・ 都市交通から地区交通までのマスタープランをめぐる法制度、政策～都市交通マスタープラン、都心交通計画、都心交通ビジョン
- ・ 限られた道路空間の道路機能に応じた有効活用、道路空間再配分の考え方と実現方策

(2) 交通まちづくりのプロセス・手法のあり方の研究

実効性あるプランを検討し、プランを実現するためには、如何なる方法を用い、如何なるプロセスで実施すればよいかについて調査研究を行っています。今後は市民や関係者の理解と参加がより一層重要な鍵となります。

- ・ワークショップ等の参加・協働型の交通計画、交通まちづくり手法、プロセス
- ・PI プロセスにおける交通需要予測手法や交通シミュレーションの活用
- ・地方における道路整備・維持のあり方に関する研究～道づくりと道づかい

(3) 社会潮流にあった交通需要予測分析**～交通まちづくりの視点から**

交通まちづくりの合理的な意思決定を助けるためには、どのようなデータを収集してどのような交通需要の予測・分析を行うことが適切であるかについて調査研究を行っています。

- ・都市圏レベルの交通需要予測手法

- ・利用者均衡配分モデルの適用に関する研究（都市圏レベル、都市高速道路網等）
- ・実務ニーズに対応する発展モデルに関する研究（多様な料金制度の評価、車種別配分、時間帯配分、統合モデル等）
- ・交通シミュレーションを活用した交通施策の評価に関する研究（広域、都市高速、中心市街地、駅前広場）

(4) 都市・交通に関わる海外情報の収集、データベース化

上記の各項目について、海外情報を収集し、データベース化を進めるとともに、我が国の都市・交通の取り組みへの適用可能性や我が国の課題について調査研究を実施しています。

- ・都市計画、都市交通計画に関する海外情報（都市圏交通計画の枠組み、公共交通支援制度、成果を重視した補助金制度など）
- ・都市政策、交通政策、事業制度に関する海外情報
- ・海外の都市交通データ分析